

平成26年度 城星学園幼稚園自己評価

本年度の重点目標	評価の観点	評価項目	内容（具体的な取り組み）	評価	達成状況	今後の取り組み
ドン・ボスコの心で教育する ドン・ボスコの教育法を学び、 深め、具体的な保育の場に生 かす。	教育使命	建 学 の 精 神	建学の精神を教職員が理解し、園の雰 囲気の中に生かすように心がけている。	A	明るい家庭的な 雰囲気の中で子 どもたちが自分 の居場所を見つ け、素直に表現で きるようになった。 。	ドン・ボスコの教 育法を一層深め、 それを園の雰囲気 の中に生かすよう 今後も努力を続け ていく。
		教育方針	子どもたちひとりひとりを温かく迎え、 子どもたちが愛されている喜びを味わ いながら素直に自己を表現できる場を 与えるよう心がけている。	A		
幼児の特性を踏まえ、環境を 通した教育を基本として、子 どもたちが周りの環境に興味 や関心をもって関わり、発達 に必要な体験が得られるよ う、適切な環境の構成に努め ている・	教育課程	保育内容	教育課程は、教育要領を踏まえながらも 独自の予防教育法 of 精神に基づいて編 成し、創意をもって実践している。	B	予防教育法 of 精 神に従い、保育内 容の充実 に意を 用いて、子どもた ち一人ひとりと 向き合い、思いを 大切に受け止め ている。	理解し、納得して 活動できるよう、 取り組みの手立て や生活の見通しを 分かりやすく、順 序を追って、明確 に伝え、自信と自 発へとつないでい く。
			子どもに同伴(アシステンツァ)しなが ら、個性を大切にし、互いに認められ、 励まされるように導いている。	A		
			神の存在を知らせ、神から頂いている恵 みに気づかせ、祈る心を育てている。	B		
子どもを自ら育つ存在として 捉え、子どもが日々成長しよ うとする力を援助するため に、常に課題意識を持ち、教 師自らの資質向上を図るため の研修を主体的・計画的に実 施している。	資質向上	園内研修	ドン・ボスコの生誕200周年にあたり、 教育法を深めるため、毎日のミーテ ィングで「ドン・ボスコのことば」を輪 読し、創立者の教育を意識して深めてい る。	A	相互の共通理解 を図り、指導力を 高めるために終 礼時のミーティ ング、学年会、職員 会、園内研修等を 計画的に実施し ている。	常に課題意識を持 ち、教育の活性化 と自らの資質向上 を図るための研修 に主体的・計画的 に励む。
			保育力の向上のため、保育内容の研究、 研究保育の実践が行われている。	A		
			保育者相互の連携と理解のもとに日常 的に交流がなされ、研鑽の場がある。	A		
子どもたちが自分で遊びを見 つけ、自発的に遊びを展開し ていけるように遊びを見通し ながら環境設定を工夫する。 子どもたちの発想や表現力・ 創造力を大切にし、子どもの 遊びに寄り添いながら、必要 な教材・素材を提供できるよ うにしている。 応用力を高めるために基礎・ 基本をしっかりと教える。	環境	宗 教 的 環 境	カトリック精神を伝えるための雰囲気 は常に配慮されている。	A	幼児の経験が広 がり、それを生活 の中に取り込み ながら遊んでい るが、充実するに は遊びの見通し と環境設定がま だ足りない。	遊びの見通しと教 材・素材の研究。 基礎・基本を応用 できるまでに伝え る。 いざという時に動 けるように危機管 理マニュアルの見 直しと作成、また それに従って訓練 のあり方を考える 。
		遊 び の 環 境	素材・教材研究、細やかな配慮、子ども の遊びに寄り添う等の実践を通して、子 どもの遊びを充実させ、遊びの中でそ れ体験できる自由な発想や表現力、創造 力を培い、自発的な遊びを促進するよう 心がけている。	B		
		安全管理	安心・安全・清潔感のある環境を構成し、 絶えず点検している。 危機管理マニュアル、警察、消防署との 連携・訓練等安全対策が十分とられてい る。	B		
保護者への傾聴、対話の姿勢 をもって家庭との連携を十分 に図り、信頼関係を大切にす る。 子どもの状況について保育者 間の連携と情報の共有に基づ いて適切に対応する。 園務分掌や係りは創意工夫を 持って取り組む。	運営	校 種 間 の 連 携	他校種の動きに関心を持ち各校種間で 話し合い協力している。	C	校種超えての連 携が難しい。	学校と幼稚園では 教育の形態が違 うので連携するの は難しい部分もあ るが関心は持ち続 けたい。
		園務分掌	それぞれの職務や担当する役割に責任 をもって対処している。	A	各自が責任をも って果している。	
		情報提供	学園のホームページで可能な限りの提 供をしている	A	情報の発信に努 力している。	
		保 護 者 の 理 解	保護者に対して本園の方針や活動を理 解してもらうための手立てや方策をと っている。	A	行事、家庭通信等 を通して連携を 図っている。	
社会の要請に応じて安心して 遊べる場の提供と子育て支援 に協力する。	子育て支援	預 かり 保 育	預かり保育の内容を検討し、安心して遊 べる場を提供している	A	社会のニーズに 応える活動とな っている。	4時までの預かり 保育の場と保育内 容を考慮する。
		地 域 と の 関わり	未就園児が親子で登園する日を設けて いる。	A		
共に生活するために必要な習 慣や態度、規範を身につける。	生活指導	基本的な 生活習慣	基本的な生活習慣の指導を行うと共に、 規範意識の芽生えを培い時に応じて共 に考える時と場をもっている	B	保育者の丁寧な 関わりの積み重 ねが大切である ことを再確認し た。	日々の生活の中で 繰り返し、丁寧に 指導することを保 育者間で共通理解 する。

A=十分に達成されている B=概ね達成されている C=取り組まれているが成果が十分でない D=取り組みが不十分である

平成26年度 城星学園幼稚園 学校関係者評価							
		学校関係者評価(自己評価の結果に対する評価)					
本年度の重点目標	評価の観点	評価項目	内容	自己評価	学校関係者評価	今後に求める取り組みやご提言	全体に関するご意見等
ドン・ボスコの心で教育する ドン・ボスコの教育法を学び、深め、具体的な保育の場に生かす。	教育使命	建学の精神	建学の精神を教職員が理解し、それに生きようと研修を深めている。	A	A		・問題が円滑に解決・改善するよう、保護者からの意見も届きやすい環境にして頂けるよう期待します。 ・子どもをお願いするにあたって、何の文句のつけようがない程、本当にいい先生方です。
		教育方針	子どもたちひとりひとりを温かく迎え、子どもたちが愛されている喜びを味わいながら素直に自己を表現できる場を与えるよう心がけている	A	A		
幼児の特性を踏まえ、環境を通した教育を基本として、子どもたちが周りの環境に興味や関心をもって関わり、発達に必要な体験が得られるよう、適切な環境の構成に努めている。	教育課程	保育内容	教育課程は、教育要領を踏まえながらも独自の予防教育法の本質に基づいて編成し、創意をもって実践している。	B	A	・今まで通りで良いと思います。	・先生方が子どもに対して愛情を持って接して下さっているのが良く分かり、感謝しています。 ・先生方が子ども達に対する振る舞いや言葉の使い方、怒り方などについて、大変良いと思うし、誇りに思っております。
			子どもに同伴(アッシステンツェ)しながら、個性を大切にし、互いに認められ、励まされるように導いている。	A	A		
			神の存在を知らせ、神から頂いている恵みに気づかせ、祈る心を育てている。	B	A		
子どもを自ら育つ存在として捉え、子どもが日々成長しようとする力を援助するために、常に課題意識を持ち、教師自らの資質向上を図るための研修を主体的・計画的に実施している。	資質向上	園内研修	ドン・ボスコの生誕200周年にあたり、教育法を深めるため、毎日のミーティングで「ドン・ボスコのことば」を輪読し、創立者の教育を意識して深めている。	A	A	・今まで通りで良いと思います。	
			保育力の向上のため、保育内容の研究、研究保育の実践が行われている。	A	A		
			保育者相互の連携と理解のもとに日常的に交流がなされ、研鑽の場がある。	A	A		
子どもたちが自分で遊びを見つけ、自発的に遊びを展開していけるように遊びを見通しながら環境設定を工夫する。 子どもたちの発想や表現力・創造力を大切にし、子どもの遊びに寄り添いながら、必要な教材・素材を提供できるようにしている。 応用力を高めるために基礎・基本をしっかりと教える。	環境	宗教的環境	カトリック精神を伝えるための雰囲気は常に配慮されている。	A	A	・子どもと生き物が触れ合える環境(虫、動物保育)も素晴らしいと思うので提案して欲しい。ただ、アレルギーや危険な動植物もあるので、園内の安全管理を保った上で、望みます。 ・安全管理についてですが、風水害時や災害時の対応方法が、保護者に伝わっていないと思われるのでアナウンスをして頂ければと思います。	
		遊びの環境	素材・教材研究、細やかな配慮、子どもの遊びに寄り添う等の実践を通して、子どもの遊びを充実させ、遊びの中でこそ体験できる自由な発想や表現力、創造力を培い、自発的な遊びを促進するよう心がけている。	B	A		
		安全管理	安心・安全・清潔感のある環境を構成し、絶えず点検している。 危機管理マニュアル、警察、消防署との連携・訓練等安全対策が十分とられている。	B	A		
保護者への傾聴、対話の姿勢をもって家庭との連携を十分に図り、信頼関係を大切にする。 子どもの状況について保育者間の連携と情報の共有に基づいて適切に対応する。 園務分掌や係りは創意工夫を持って取り組む。	運営	校種間の連携	他校種の動きに関心を持ち各校種間で話し合い協力している。	C	C	・行事等の予定の案内が少し遅いと感じます。子どもの負傷等も連絡を頂きたいと思います。そういった情報の迅速かつ正確な提供を望みます。 ・学園のHPでの情報提供は必ずしも必要というわけではないと思います。内部進学希望者は個々で情報を集めたら良いと思います。 ・学園のHP、楽しく拝見させて頂いております。他の幼稚園での交流は、なかなか難しい点がありますが、興味はあります。	
		校務分掌	それぞれの職務や担当する役割に責任をもって対処している。	A	A		
		情報提供	学園のホームページで可能な限りの提供をしている。	A	B		
		保護者の理解	保護者に対して本園の方針や活動を理解してもらうための手立てや方策をとっている。	A	A		
社会の要請に応じて安心して遊べる場の提供と子育て支援に協力する。	子育て支援	預かり保育	預かり保育の内容を検討し、安心して遊べる場を提供している	A	A	・未就園児への開放はすぐに定員になるため、本当の地域住民との関わりになりきれっていない印象があります。 ・冬休み、春休み、長期休暇中の預かり保育や日数を検討して頂きたい。 ・預かり保育時間を延長して頂きたい。 ・バスの運行回数や停留所も増やして頂けると幸いです。 ・バスの時刻表をローテーションして欲しい(1学期遅バスは、2学期早バスに)。	
		地域との関わり	未就園児が親子で登園する日を設けている。	A	A		
共に生活するために必要な習慣や態度、規範を身につける。	生活指導	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の指導を行うと共に、規範意識の芽生えを早い時に応じて共に考える時と場をもっている	B	A	・言葉遣いや接し方が丁寧で、園に入る事で言葉遣いが変わらず安心していきます。 ・先生方は本当に言葉遣いや行動について、丁寧に指導して頂いていると思います。	